

第1回

見晴台公園 利活用検討 ワークショップ ニュースレター

発行者：上富良野町建設水道課
発行日：平成24年2月3日



見晴台公園の利活用を考える 検討会議がはじまりました！！

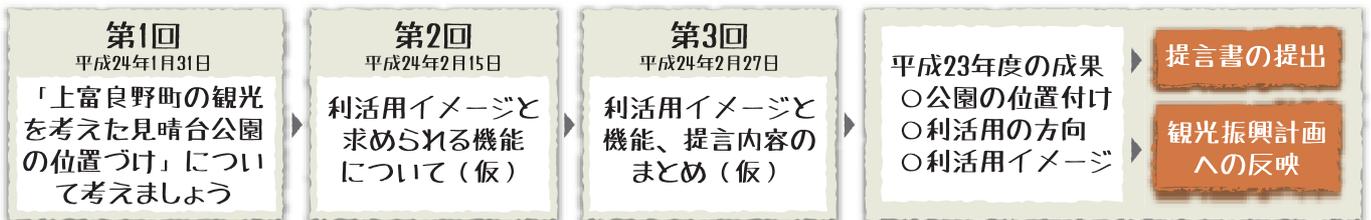
- 町では、今後のまちづくりや観光、町民の生活の視点も踏まえて、「見晴台公園」の利活用検討事業に平成23年11月から取り組んでいます。
- 町民のみなさまの声を反映させようと、1月31日(火)に保健福祉総合センターかみんで、「第1回検討会議」を開催しました。町民14名の方にご参加頂き、これまでの議論の確認や検討内容の活かし方について共有した後、グループに分かれて意見交換を行いました。



ワークショップの検討スケジュールと成果の活かし方

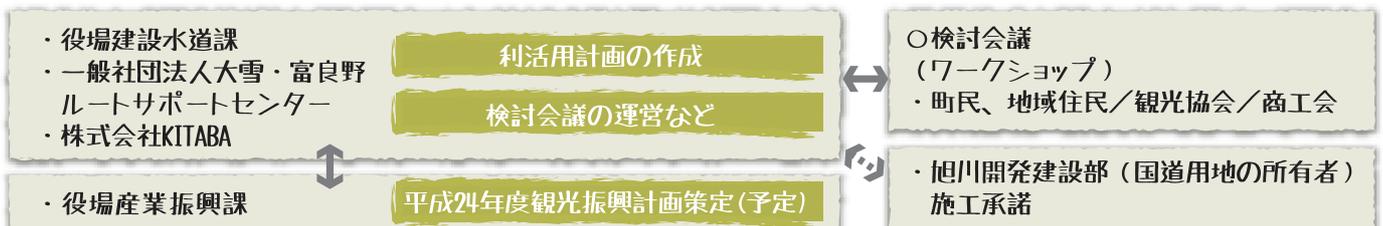


- 以下のスケジュール（予定）で、ワークショップを行い、第1回は「上富良野町の観光を考えた見晴台公園の位置づけ」についてグループごとに検討しました。議論の内容は次のページに記載しております。
- 検討された成果は、町民のみなさまからの提言書として町へ提出します。また、平成24年度策定予定の観光振興計画へも一部反映させる仕組みとします。



事業の推進体制を紹介します

- 検討会議の運営等については、中立な立場から合意形成を図れるよう専門家に委託し進めております。
- 関係者ヒアリングや検討成果の反映体制などを整えてからワークショップでの検討に入りました。



上富良野町の観光を考えた 見晴台公園の位置づけについて考えましょう



議論全体のまとめ（第1回目）

！ 大切にすべきポイント （全体に共通している内容）

- 見晴台公園は町の観光において重要なポイントとして考えられ、まちなかへの入口として拠点になりえる。
- 観光の一方で、地域に配慮した憩いの場としても機能しうる（観光とのバランス）。

※ 留意点：町の考え（観光なのか、公園なのか）は明確にした方が良い

！ 観光振興計画へ 反映させるべき項目案

- まちの特産品を一同に集める場所（見晴台公園やまちなかに）の検討が必要なこと。
- 見晴台公園を入口とした際、まちなかへ呼び込む仕掛けが必要であること。
- 観光資源のネットワークを考えながら公園の利活用を考えていく必要があること。

各グループ意見の概要（第1回目）

- ・ まちの観光物産をPRする場所がない。
- ・ 観光上の位置づけとしては、フラワーランド、日の出公園と結んだ観光トリアングル（周遊）の拠点になるのではないかな。
- ・ 花のイメージを強化してはどうか。
- ・ 防災の観点も取り入れて、地域の生活面への配慮を考えていかなければならない。

A

- ・ 観光客や運営側にとっても使いづらい場所になっている。
- ・ 地域の人にとっては車のアイドリング音、風の強さが課題となっている。地域の人への思いはすくい上げて。
- ・ 観光振興上の町の位置づけをはっきりとさせた方が良い。
- ・ 深山峠、JR上富良野駅、見晴台公園に観光案内所があるが、案内所毎の売りや性格を明確にする必要がある。

B

- ・ 観光面では、まちなかへ人を呼ぶための導入部として重要な拠点である。
- ・ 観光客に寄ってもらう拠点としては、まちなかの情報を発信する機能などの改善や充実が必要である。
- ・ 見晴台公園も含め、点在している観光資源をつなぐネットワークが必要である。
- ・ 丘の上の木がシンボルとなっており、これを活かして利用できるようにした方が良い。
- ・ 子どもたちが遊ぶ姿もあり、地域住民の憩いの場としても重要である。

C

- ・ 物販や広告に制限がある。
- ・ 情報発信、フットパス等の拠点になるのではないかな。
- ・ 散歩、休憩ができる憩いの場のため、一部平坦な場所が必要ではないかな。
- ・ 国道側の土地を持っている開発局とも協議しながら、時間をかけて進めていく必要がある。

D

次回の検討会議日程のお知らせ

- 次回は、2月15日（水）に保健福祉総合センターかみんで18時から行います。
- 皆さまのご参加、お待ちしております。

第1回
平成24年2月9日
「上富良野町の観光を考えた見晴台公園の位置づけ」について考えましょう

第2回
平成24年2月15日
利活用イメージと求められる機能について（仮）

第3回
平成24年2月27日
利活用イメージと機能、提言内容のまとめ（仮）

お問い合わせ先

上富良野町
建設水道課
担当：角波[かくなみ]
TEL：0167-45-6981
FAX：0167-45-5362